

5 鶴小 5 年生が農業体験！
1 「みどりの会」がジャガイモの植え方を指導

鶴田小学校 5 年生 30 人が町の農業後継者団体「みどりの会」と一緒にジャガイモの植え付けを行いました。
みどりの会は子どもたちに地産地消について理解を深めてもらうため、毎年学校給食にジャガイモを提供しています。
児童たちは会員からジャガイモの植え方を教わった後、農作業に挑戦。低い姿勢で慣れない農作業に苦戦しながらも大事にジャガイモを植えていました。
今回植えたジャガイモは、夏頃に収穫予定です。



▲児童たちにジャガイモの植え方を教える会員

月に一度 良縁に恵まれる御縁石を頒布
鶴田八幡宮 月に一度の「えんむす日」

鶴田八幡宮は、毎月一度良縁を祈願する縁日を”えんむす日”として、訪れた人たちの良縁を祈願しています。
同社はさまざまな縁についての言い伝えがあり、縁結びの神社として有名です。境内には親子が身を寄せ合っているように見える「親子石」があり、これをなでると良縁に恵まれると言われていました。
えんむす日には、親子石の力を分けてもらった「御縁石」を頒布しています。また、この日だけの特別な御守や御朱印が頒布されるほか、巫女さんが良縁を願い、赤い糸で参拝客の指に御守を結んでくれます。えんむす日の日程は神社ホームページなどで確認できます。



①親子石 ②巫女さんにより赤い糸守
③えんむす日に頒布される授与品

地域おこし
協力隊通信

Vol.68 (筆：葛西 あゆみ)

昨年に引き続き、津軽富士見湖一周マラソン&ウォーキング大会に参加しました。今年は家族全員で参加し、子供たちも無事に完走することができました。我が家は富士見湖一周ではなく、1.5 kmのコースでしたが、天候にも恵まれ、岩木山もぼつちり見える中、新緑の富士見湖パークを走るのとはとても気持ち良かったです。来年も是非参加したいです。

同じく富士見湖パークにて花の植栽に参加させていただきました。およそ一万株のペゴニアの花壇は夏から秋まで見頃です。

今年度より、つるすチューベン日本一推進協議会のメンバーに加入させていただくことになりました。畑ではすチューベンの新梢が伸び、実がすくすくと成長しています。師匠の教えを乞いながら、独立に向けてより実践的な作業に取り組む日々です。



①富士見湖マラソンにて ②花の植栽に参加した葛西さん

地域おこし協力隊の活動内容は、各種 SNS でも確認することができます。

Facebook  Instagram 

5/23 **きれいなお花を見に来てね♪**
富士見湖パーク花の植栽

富士見湖パークを訪れた人に楽しんでもらうため、パーク内の円形花壇で花の植栽が行われました。

町では毎年この時期、花壇にベゴニアの花を植える活動を行っています。この日は町内の保育園の子どもたちや五所川原農林高校の生徒、観光ガイドなど約140人が参加しました。参加者たちは白や赤の鮮やかなベゴニアを一つ一つ丁寧に植えていました。

今回植えたベゴニアは約1万本で、9月下旬頃まで楽しめます。



▲開会のあいさつを行った梅沢保育所の子供たち



沿道の人たちに手を振る子どもたち

5/25 **稚児行列、街なか華やかに**
ひなづる幼稚園創立70周年花まつり

ひなづる幼稚園は創立70周年を記念し、園児らによる稚児行列を町内で行いました。

同園はお釈迦様の誕生を祝う「花まつり」を毎年春に開いており、稚児行列は5年ごとに実施しています。

この日は園児や卒園した小学生ら25人が参加。子どもたちは始めに、お釈迦様が誕生の際に天から甘露の雨が降った言い伝えに基づき、お釈迦様の仏像に丁寧に甘茶をかけました。その後、子どもたちは華やかな衣装に身を包み、保護者らと手を繋ぎながら園周辺を練り歩き、周辺住民たちに可愛らしい姿を披露していました。

今月のライス☆シェアメニュー
ご飯せんべい
 (シーサーさん投稿)



町では、お米のさらなる消費拡大・地産地消を図るため、お米を使った料理の投稿を随時募集しています。

詳細はこちらよりご確認ください▶



材料

- 黒ごませんべい
- ・ご飯 …………… 100g
- ・めんつゆ …………… 大さじ1
- ・黒ごま …………… 適量

- エビせんべい
- ・ご飯 …………… 100g
- ・白だし …………… 大さじ1
- ・乾燥白エビ …………… 適量
- ・白ごま …………… 適量
- (白エビをシラスに変えてもOK)

障持ちもよく、
 子どものおやつに
 オススメ!

